



みどりの風

平成28年3月1日発行
校報 第528号
〔みどりの風 第71号〕
練馬区立関町北小学校

日本から学ぶ10のこと

校長 大野 泰弘

元 世界銀行 副総裁 西水美恵子さんが毎日新聞に寄稿した記事(平成25年2月10日付)があります。

平成23年3月11日午後2時46分に起こった東日本大震災は、東北地方から関東地方にかけて未曾有の被害をもたらし、あれから丸5年が経とうとしている今でもなお多くの人々が避難生活を余儀なくされています。

世界銀行副総裁の西水さんは、東日本大震災が起こった時刻、カリブ海のバージン諸島にいらっしたそうです。午前2時ごろ、東京に来ていた元部下の女性から電話があり、その彼女の震える声を聞いて大地震直後の日本の状況を知ったのだそうです。その彼女はまた、こうも伝えたそうです。「ミエコの国の人たちはすばらしい…。強い余震が来る中で…。みんな周りの人を思いやり…。助け合っている…。」と。

しばらくして、ワシントンに戻ったその女性から西水さんの元に一通のメールが送られてきました。「このことが世界銀行や IMF(国際通貨基金)はもとより、全世界を駆け巡っている。」というメッセージとともに、「日本から学ぶ10のこと」という文言が添えられていたそうです。

日本から学ぶ10のこと (10 things to learn from Japan)

英文は略

- 1 平静 (The Calm)
悲痛に胸を打つ姿や悲嘆に取り乱す姿など見当たらない。悲しみそのものが気高い。
- 2 威厳 (The Dignity)
水や食料を得るためにあるのは、秩序正しい行列のみ。乱暴な言葉や、不作法な動作など、一つとしてない。
- 3 能力 (The Ability)
例えば、驚くべき建築家たち。ビルは揺れたが、崩れなかった。
- 4 品格 (The Grace)
人々は、皆が何かを買えるようにと、自分に必要なものだけを買った。
- 5 秩序 (The Order)
店舗では、略奪が起こらない。路上では、追い越し車も警笛を鳴らす車もない。思慮分別のみがある。
- 6 犠牲 (The Sacrifice)
50人の作業員が、原子炉に海水をかけるためにとどまった。彼らに報いることなどできようか？
- 7 優しさ (The Tenderness)
レストランは、値を下げる。無警備の ATM(現金自動受払機)は、そのまま。強者は弱者を介助する。
- 8 訓練 (The Training)
大人も子どもも、すべての人が、何をすべきかを知っていた。そして、すべきことをした。
- 9 報道 (The Media)
崇高な節度を保つ速報。愚かな記者やキャスターなどいない。平静なルポのみがある。
- 10 良心 (The Conscience)
停電になったとき、レジに並んでいた人々は、品物を棚に戻して静かに店を出た。

私たちは、私たち自身からも、たくさんのことを学べるのかもしれない。

まもなく、東日本大震災の発生から6年目に入ります。被災された方々が示された日本人としての倫理観の高さはこれだけではありません。今年度は戦後70年という一つの節目でもありましたが、時間が経過しても風化させてはいけなことはたくさんあります。71年前の3月10日未明の東京大空襲もそうですが、後の世に語り継ぐべきことをしっかりと残していくことで、生命の重さ、人間性を高めることの大切さ、人としての生き方や行動規範の在り方などを感じ取れる子どもたち一人一人に育ってほしいと願わざるをえません。そして、来年度もそういう子どもたちの姿を求め、その心を育む教育実践を続けていきたいと考えています。

この一年間も保護者、地域の皆様には本校の教育に対する温かいご理解とご支援をいただき、有難うございました。来年度も人間教育の原点を見つめながら、さらに充実した教育活動を展開してまいりたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。